

Beコインについて問う！第3回臨時会で質疑



チャージ方法拡大に向けて検討進む

4月28日の臨時会では7件の質疑を行いました。そのうちBeコイン(電子地域通貨運営事業)については、新たな動きがあることが担当課の答弁から分かりました。

青ちゃんの質疑(超要約)

1「前年度町内で回った地域通貨はどのくらい?」

(答弁)チャージ分・行政ポイント・プレミアム商品券分で3億9776万円の発行をしています。

2「クレジットカードでのチャージはできそう?」

(答弁)現在、セブン銀行とクレジットカードでチャージできるように、委託先(トラストバンク)と協議をすすめています。手数料等も考慮のうえ、導入を検討し(議会に)提案したい。

3「使いづらいという声もあるがどうしますか?」

(答弁)行政ポイントを発行しながら、利用が広がっていくように取り組みをすすめていきます。

(青)これまでは、役場など町内3か所で現金を入金する方法しかありませんでした。

今後は観光客の利用などで、より多くの外貨流入につながることを期待しています。

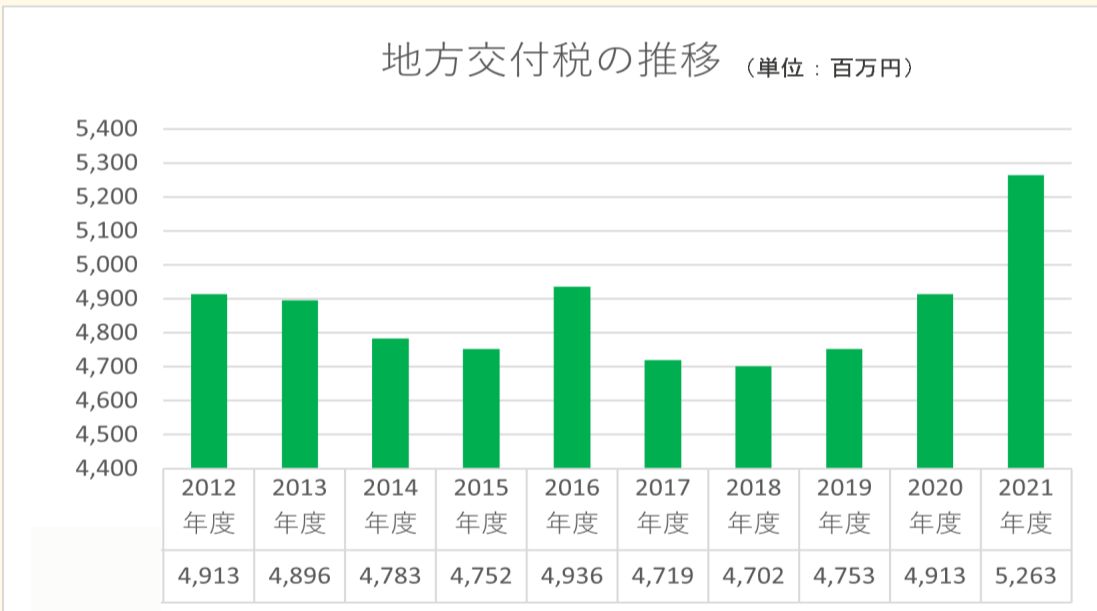
地方交付税四年連続増 公共施設等整備基金に約1億

財政関連の質疑も行いました。

左のグラフは、町が交付を受ける地方交付税の推移です。令和3年度は約52億6千万円です。

今回の補正予算では、地方交付税や特別交付税が増額となり、その結果、基金(貯金)の取り崩しが少なく済んだようです。さらに、公共施設等整備基金に1億1114万円積み立てることになりました。基金(貯金)の合計は、現在約42億円となっております。町が目標とする40億円を上回っています。

地方交付税の推移 (単位: 百万円)



今後は、修繕等が必要な町の施設や町道もあるようなので、利用される方に不便が生じないように工事が進むことを期待しています。

また、コロナ禍の影響で停滞している町内経済を回復させるためにも、補助事業等の速やかな実施と拡充を検討すべきです。

皆様の声をお寄せください



E-mail

info@aota-tomofumi.com

facebook



@aotomte

twitter



@AOTOMTE

Instagram



aotomte

YouTubeチャンネルで「美瑛町議会」をご覧ください。チャンネル登録をおすすめいたします。ご不明な点がありましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

YouTube



凸凹町議会会議録

「おすそわけ」

作：青ちゃん

※丸丸議員※
美瑛町では買い物調査を行いおすそわけの経済効果も公表されていますが、町長の認識を伺います



凸凹町議会ではおすそわけの経済効果について議論されています

おすそわけは地域に流通する重要な価値だと思えますその効果としては、



※角角町長答弁※
凸凹町でも美瑛町が行ったような買い物調査を検討しております



また住民間の関係性を深めるとともに、フードロスの削減

貨幣外価値としての経済効果

野菜の入手先 購入66% ↓ おすそわけ15% ↓

自家栽培19% ↑

今後は凸凹町でもおすそわけの効果も重視し進めたいと思っております



美瑛町の各家庭では野菜の約15%をおすそわけによって入手するそうです※

※「美瑛町買い物と暮らしに関するアンケート調査」(令和3年10月)のデータに基づきます

町内で広げよう！おすそわけの輪！

先日、「近所の方からハウスで育てたニラをいただきました。早速、卵とじにして美味しくいただきました。ありがとうございます。」と、広報びえい五月号に町の経済を分析した記事が掲載されていきました。調査の中にある「買い物と暮らしに関するアンケート調査」は、とても興味深い調査だと思っております。
私が注目したのは、**おすそわけ**による経済効果です。
調査結果の報告書には、**自家栽培やおすそわけ**による「非貨幣経済」が、美瑛町に根付いているという分析がされていました。

買い物調査から知る、その経済効果

おすそわけ経済は地域の強み！
町内世帯の野菜の入手方法の調査では、一か月あたりの平均で購入が66%、自家栽培(家庭菜園)が19%、そして、**おすそわけが15%**です。金額に換算すると、一か月の平均購入合計金額1万2555円のうち、購入は6千743円、自家栽培分は1千950円、**おすそわけ分は1千562円**になるそうです。
月平均**1千562円**分の野菜が町内で流通していると考えると、一年で1万8744円になります。そして、単純計算で世帯数(4千785世帯)をかけると、なんと**8千969万円、約9千万円**になります。
報告書では、このような貨幣以外の経済は、都市では発展していないことから、**地域経済の強み**と考えることができると思います。いただいた後にお礼の気持ちから町内でその分を消費すると、さらに地域内の経済にプラスとなると思っています。



長尾前衆議院議員と意見交換

4月18日に長尾敬前衆議院議員が来町され、町内をご案内。地方自治にも必要なグローバル視点から、これからの地方創生等について意見交換をしました。とても勉強になりました。

長尾 敬 前衆議院議員(大阪14区)

内閣府大臣政務官(第4次安倍改造内閣)、自民党副幹事長など歴任。最近の著書である「永田町中国代理人」は、アマゾンで日本の政治の売れ筋ランキングで第3位(5月1日現在)グローバルとは？

グローバルとは、グローバル(Global)とローカル(Local)を合わせた造語で、日本で生まれた。意味は「国境を越えた地球規模の視野と、草の根の地域の視点で、さまざまな問題を捉えている」という考え方。グローバルイズム(大辞林より)

これからの議会報を考える！

4月27日に大正大学の江藤教授をお招きして、「住民へアピールする議会報について」をテーマに、懇談会が開催されました。

江藤先生からは、「古いタイプの議会報で、一般質問集。読みやすさを含めて改善していったらどうか」との助言をいただきました。私自身も議員活動を分かり易く伝える難しさを実感していますが、皆様の声を参考にしながら改善できればと考えています。より読みやすく、親しまれる議会報を作りたいと思っておりますので、「感想や意見など、ぜひ皆様の声をお寄せください。」